

中小企業景況調査報告書

(第 107 回)

平成19年 7 ~ 9 月期 実 績

平成19年 10 ~ 12 月期 見通し

平成19年10月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

・ 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成19年9月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成19年7～9月期実績及び平成19年10～12月期の見通し

2. 調 査 対 象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	43	59	51	75	53	277
中 規 模	17	12	27	18	27	109
合 計	60	71	78	93	80	386
構成比(%)	15.7	18.6	20.4	24.3	21.0	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 22社、建設業 15社、卸売業 9社、
小売業 20社、サービス業 34社、合計 100社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

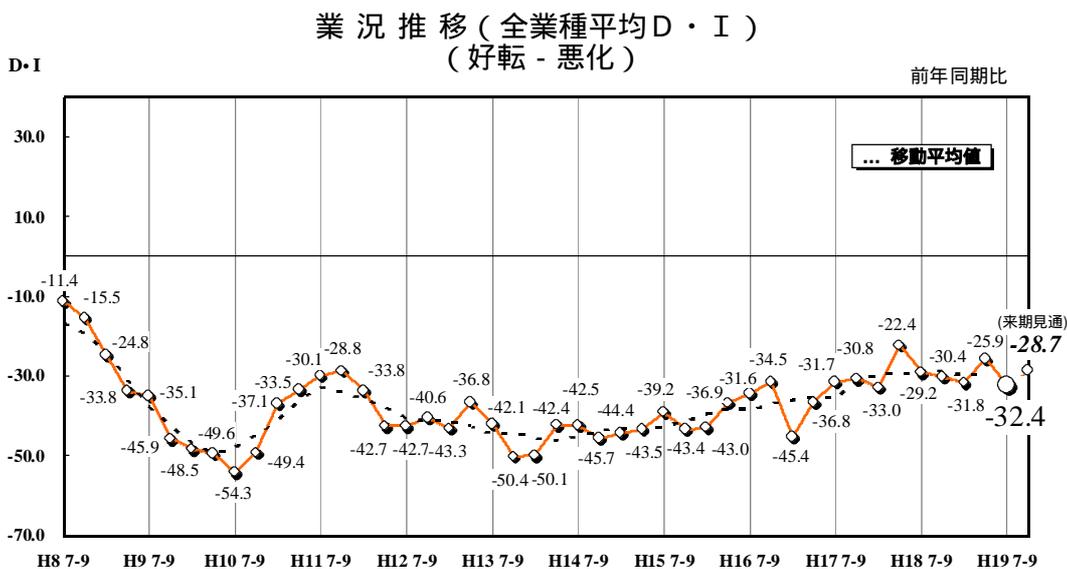
- 業況はマイナス幅を拡大 -

今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（7月～9月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成19年4～6月期の水準と比較した今期の業況）では 24.8、前年同期比（平成18年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 32.4と、業況は依然マイナスの水準で推移している。

前回の調査（平成19年4月～6月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 15.2 今回 24.8とマイナス幅が拡大しており、また、前年同期比でも前回 25.9 今回 32.4と6.5ポイントマイナス幅が拡大している。

業種別では、前年同期比で製造 36.7、建設 30.9、卸売 28.2、小売 27.1、サービス 38.8と、全ての業種で前回調査時よりマイナスの幅が拡大している。



業況を札幌市と札幌以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 29.7（前回調査 20.3）、札幌以外の地域 36.3（前回調査 31.9）となっており、札幌市に比べて札幌市以外の地域でマイナスの幅が大きくなっている。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成18年10月～12月期の水準と比較した来期の見通し）では 28.7と、今期の水準（32.4）より3.7ポイント改善する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」が高いウエイトを占めている他、製造業では「原材料価格の上昇」（33.2%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（28.4%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（13.7%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（22.9%）、サービス業では「大企業の進出による競争の激化」（11.4%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で16.3%と、前回調査時（12.9%）より3.4%上昇したが、景気の低迷による先行き不透明感などから、依然、慎重な動きが続いている。

業界動向調査における企業の声では、製造業からは依然「原材料価格の上昇」「製品価格の低下」による採算・業況悪化を訴える声が多い。また、建設業からは「公共工事の減少」による売上の低下や「請負単価の低下・材料費の上昇」により採算が悪化したという声が寄せられている。

卸売業からは「販売単価の低下や仕入価格の上昇」などから、業況が悪化したという声が多い。小売業では「大型店の影響」等による購買力の流出、中心市街地の衰退の影響、「個人消費の低迷」などによる売上の減少などの声が、また、サービス業からは、「燃料の高騰」や「利用客の減少」による売上の減少、採算の悪化を訴える声が出ている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 36.7（来期見通し 35.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成19年4月～6月期）時点からの推移では、前回 34.3 今回 36.7と2.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「原材料価格の上昇」「製品価格の上昇難」による採算・業況悪化を訴える声がある。

〔主なコメント〕

- ・原料高により、鋼材・ガスなどの取扱品が段階的に値上がりしている。（鉄工業）
- ・海水温上昇の影響などにより加工原魚の確保が難しい。魚価の上昇により調達コストも上昇した。（水産加工）
- ・燃料や原料が高騰し、製造コストの上昇に加え、流通コストも上昇し、商品価格への転嫁とのズレが収益を圧迫している。（紙・パルプ）

- ・本州が猛暑続きの為、練り製品に影響が出た。しかし、来期は大手メーカーとの新規取引が始まり売上が増加する見込み。(食料品製造業)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 30.9(来期見通し 29.8)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成19年4月～6月期)時点からの推移では、前回 24.6 今回 30.9と6.3ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「公共工事の減少」による売上の低下や「請負単価の低下・材料費の上昇」による採算の悪化の声がある。

〔主なコメント〕

- ・原油高騰の影響により材料価格が上昇している。(建設業)
- ・公共工事の受注が停滞しており、厳しい状況が続いている。(建設業)
- ・公共事業の削減が響いている。工事単価の減少、燃料費・資材等の経費の増加により、業況はより厳しくなっている。(建設業)
- ・低価格競争が激化しているため、公共工事の受注が難しくなっている。(建設)

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 28.2(来期見通 19.7)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成19年4月～6月期)時点からの推移では、前回 15.6 今回 28.2と12.6ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然、「販売単価の低下や仕入価格の上昇」などから、業況悪化の声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・地元小売業者の減少、大手コンビニの進出、材料の値上がり等により業況は悪化している。(卸売業)
- ・建築関連全般において需要が少なく、8月・9月共に売上は前年を下回った。見積もり等も少なく仕事を取り合う厳しい状況になっている。来期は例年ならば最繁期であるが、全体的に先の見通しも暗く好転する目処は立たない。(建築材料卸)
- ・業況は依然として低迷したまま推移しており先行きは不透明。特に繊維・建築資材が低迷。(各種商品卸)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 27.1(来期見通 25.3)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成19年4月～6月期)時点からの推移では、前回 25.3 今回 27.1と1.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出、中心市街地の衰退の影響、「個人消費の低迷」などによる売上の減少などを訴える声が多く寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・大型店の影響などによって空き地・空き店舗が増え商店街としての魅力がなくなっている。(小売業)
- ・商品の仕入れ単価は上がり続け、売上も伸び悩む厳しい状況が続いている。先行きの見通しが見つからない状態である。(商店街)
- ・来店客が減少してきており、それに伴い売上高も減少した。また、カード売上による支払手数料の増加もあり採算も悪化した。(小売店)
- ・個人消費の伸び悩みに加えて、官公庁の一般競争入札の拡大により受注機会が減少するとともに価格の低下により売上・粗利ともに減少した。(小売業)

【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 38.8(来期見通 32.9)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成19年4月～6月期)時点からの推移では、前回 29.7 今回 38.8と9.1ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは「燃料の高騰」や「利用客の減少」による売上の減少、採算の悪化を訴える声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・包装用ビニールの高騰や例年より暖かい日が続いたことから、長袖類のクリーニング品が減少したため売上、業況ともに厳しい状況にある。(クリーニング協会)
- ・海運(貨物運搬船・専用船)、陸運(トラック、バス・タクシー)ともに燃料高騰の影響が大きい。コスト削減での対応は限界にきているが、価格転嫁も難しい。(運輸)
- ・仕入れ価格の高騰により、依然として厳しい経営環境にある。(自動車整備)
- ・7月の天候不順及び客単価の減少により、売上額が減少した。(旅館・民宿)

道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

道内各商工会議所の相談窓口(中小企業相談所)からみた状況については、依然、景気低迷による後ろ向きな相談案件が多いが、創業に関する相談や設備資金に関する案件も徐々に見られるようになっている。

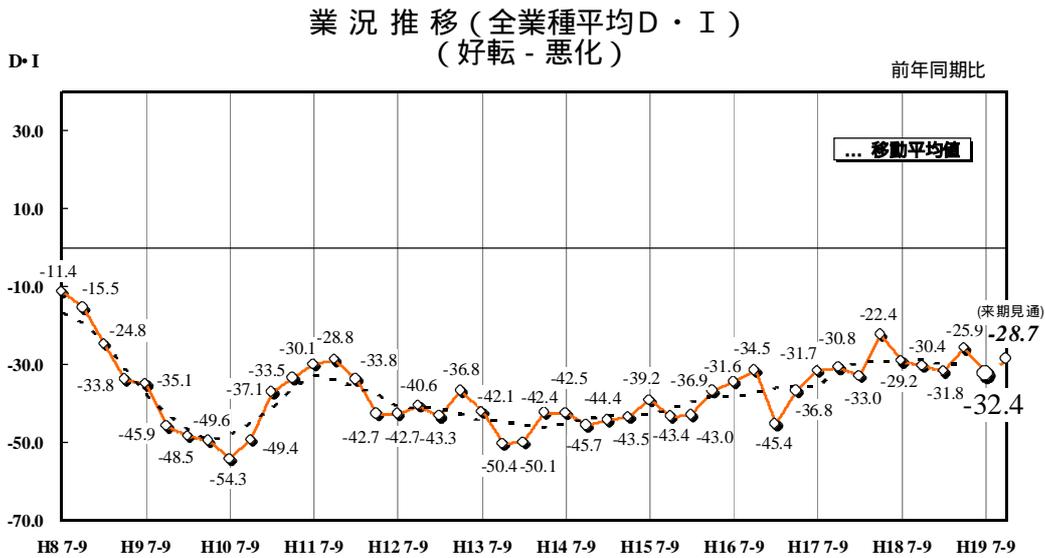
金融斡旋状況では、小規模事業者向けの経営改善資金(マル経資金)は、地域によりばらつきが見られるが、総じて資金需要が鈍化している。借り控えや民間金融機関などの金融商品の利用など需要が分散しているとの声も聞かれる。

また、道の制度資金についても、地域間のばらつきがあるが、年度累計では前年同期比では減少している地域が多く見られる。

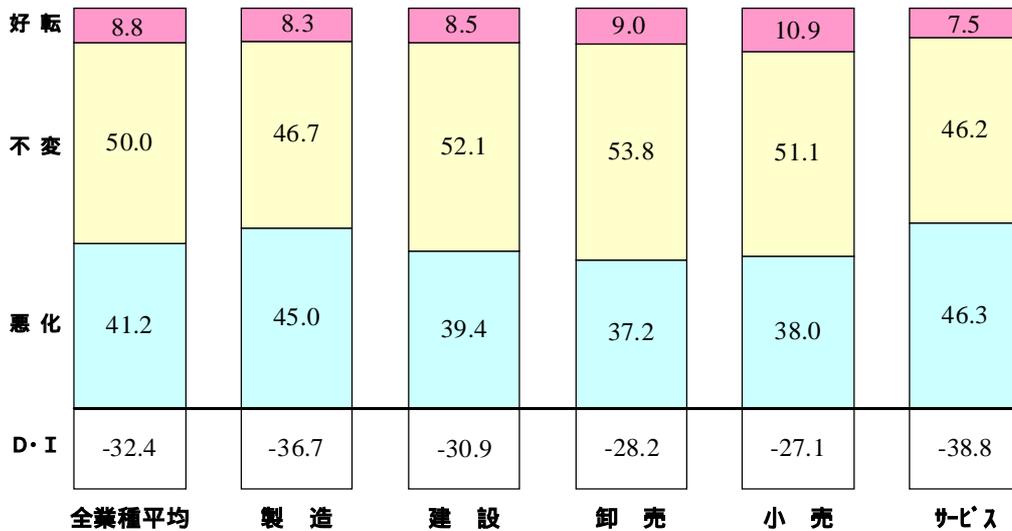
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



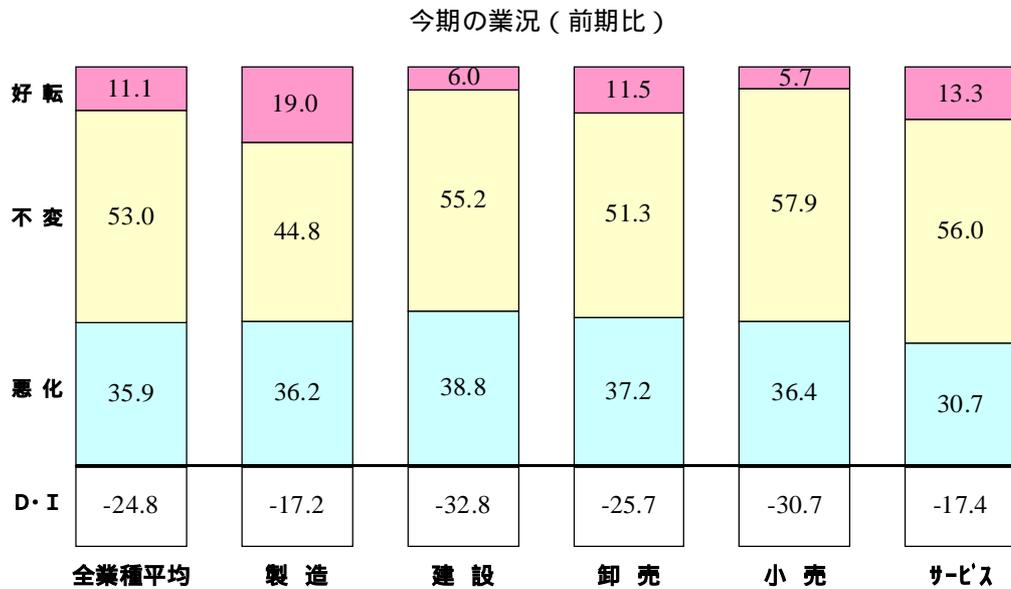
今期の業況（前年同期比）



全業種平均でD・I値 32.4〔前回調査時（平成19年4～6月期 25.9）6.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 34.3 36.7〕、建設〔前回 24.6 30.9〕
卸売〔前回 15.6 28.2〕、小売〔前回 25.3 27.1〕
サービス〔前回 29.7 38.8〕

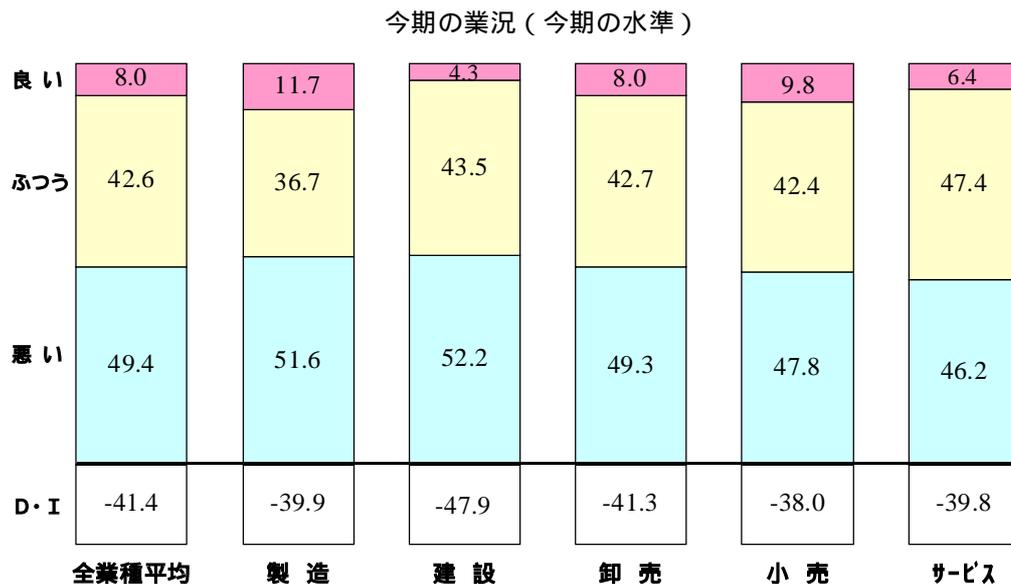
【前期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 24.8〔前回調査時（平成19年4～6月期 15.2）より9.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.6 17.2〕、建設〔前回 15.3 32.8〕
卸売〔前回 4.0 25.7〕、小売〔前回 18.9 30.7〕
サービス〔前回 10.8 17.4〕

【今期の水準】

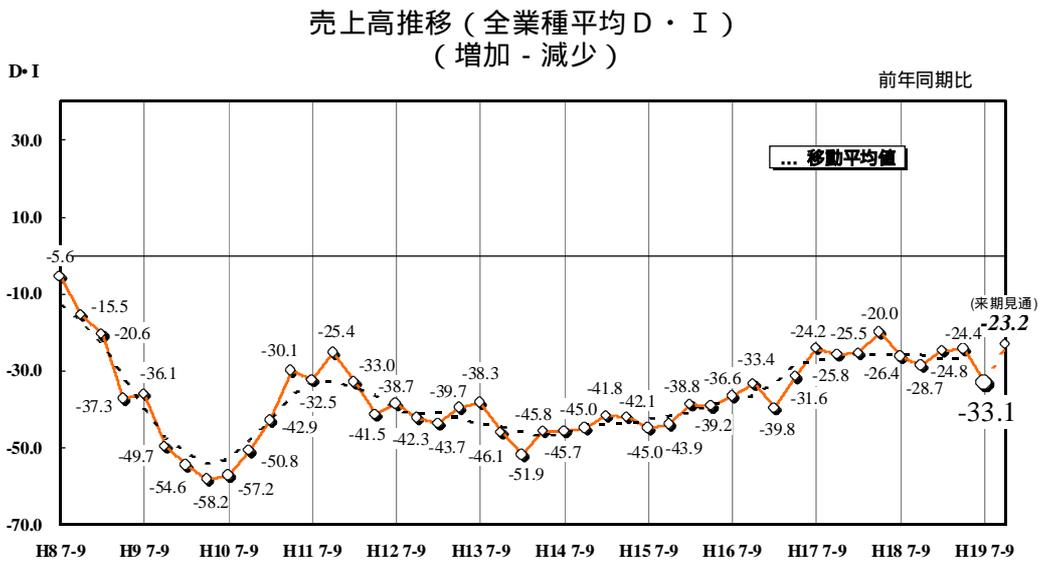


全業種平均でD・I値 41.4〔前回調査時（平成19年4～6月期 38.2）より3.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

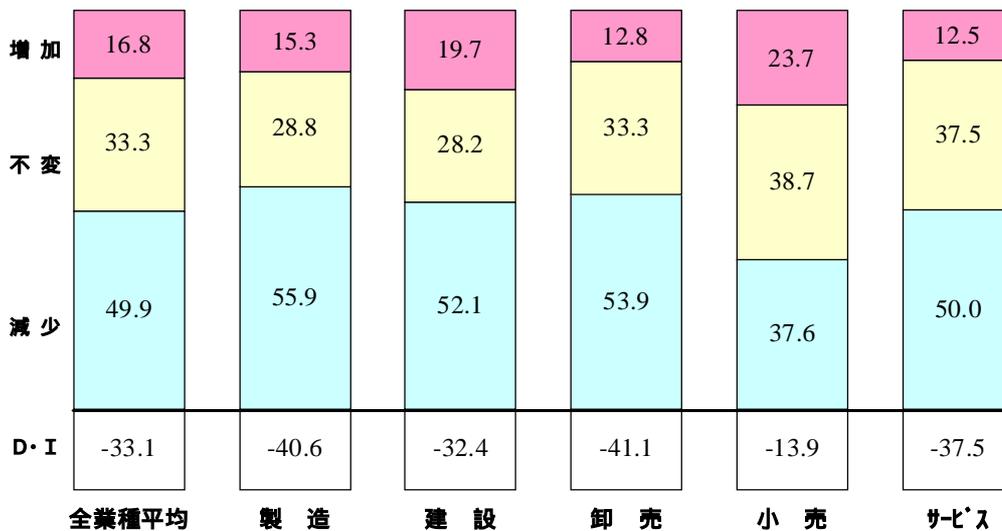
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 47.5 39.9〕、建設〔前回 34.3 47.9〕
卸売〔前回 34.2 41.3〕、小売〔前回 39.9 39.0〕
サービス〔前回 35.1 39.8〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）



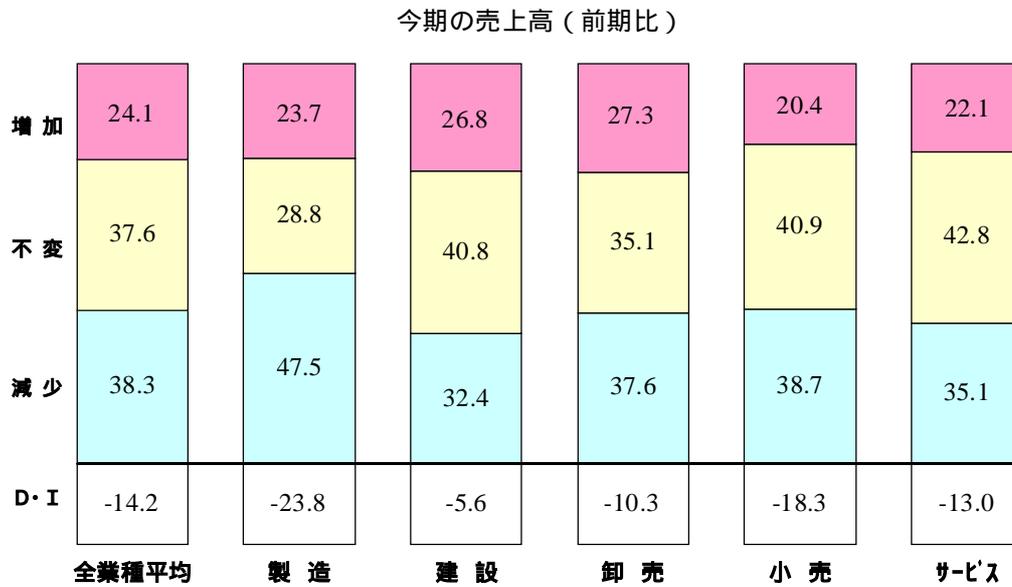
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 33.1〔前回調査時（平成19年4～6月期 24.4）より8.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 45.8 40.6〕、建設〔前回 16.4 32.4〕
卸売〔前回 15.5 41.1〕、小売〔前回 12.5 13.9〕
サービス〔前回 32.1 37.5〕

【前期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

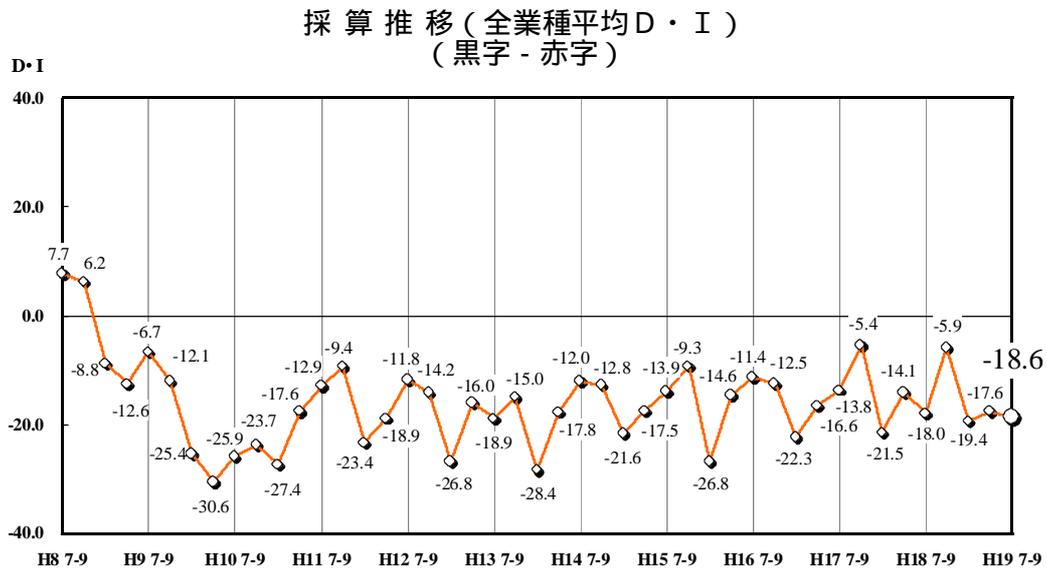


全業種平均でD・I値 14.2〔前回調査時（平成19年4～6月期 4.5）より9.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

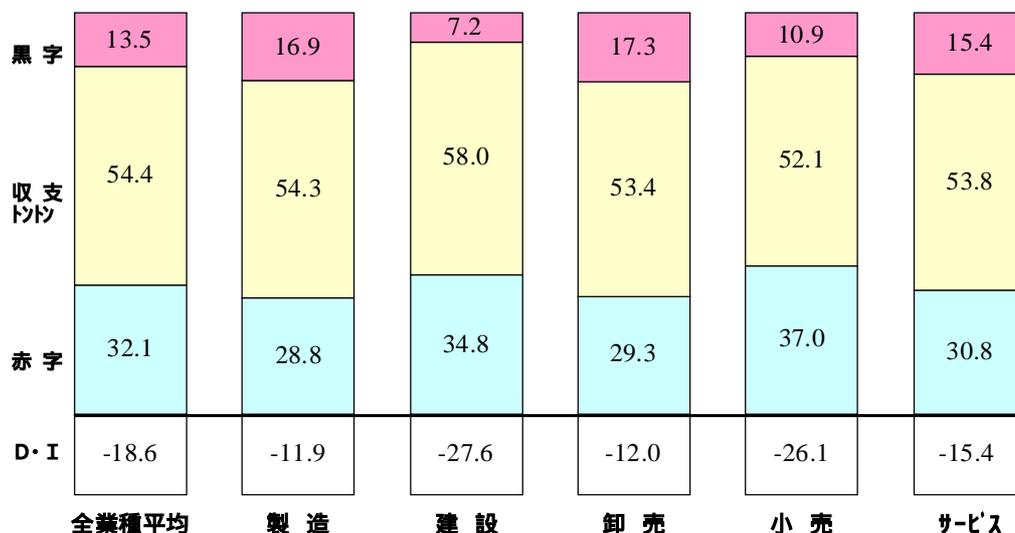
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 10.2 23.8〕、建設〔前回 19.2 5.6〕
卸売〔前回 12.9 10.3〕、小売〔前回 1.0 18.3〕
サービス〔前回 5.1 13.0〕

（3）今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



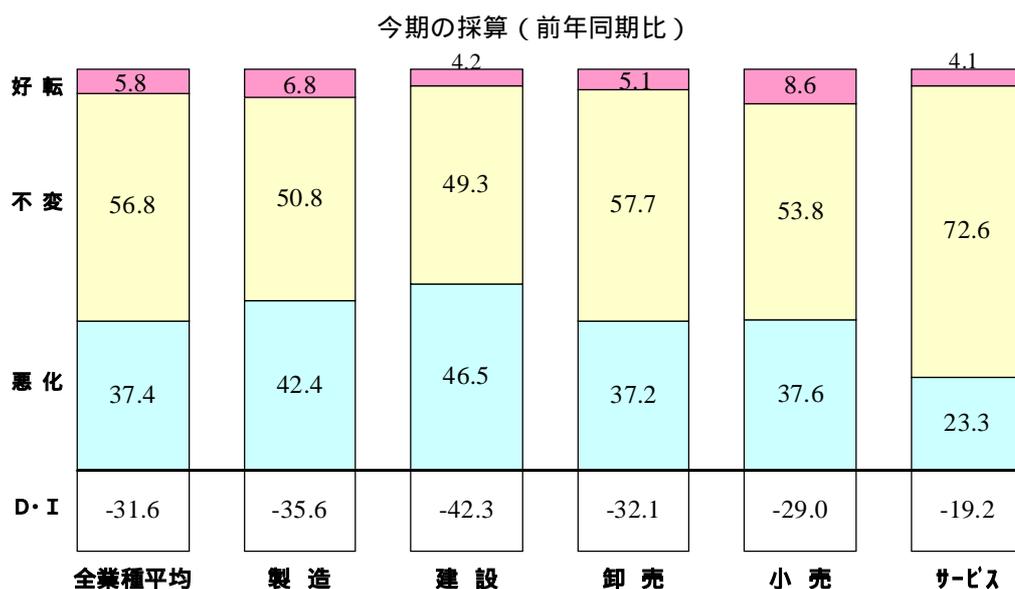
今期の採算（今期の水準）



全業種平均でD・I値 18.6〔前回調査時（平成19年4～6月期 17.6）より1.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 14.7 11.9〕、建設〔前回 29.6 27.6〕
卸売〔前回 6.4 12.0〕、小売〔前回 20.4 26.1〕
サービス〔前回 16.9 15.4〕

【前年同期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した今期の採算）

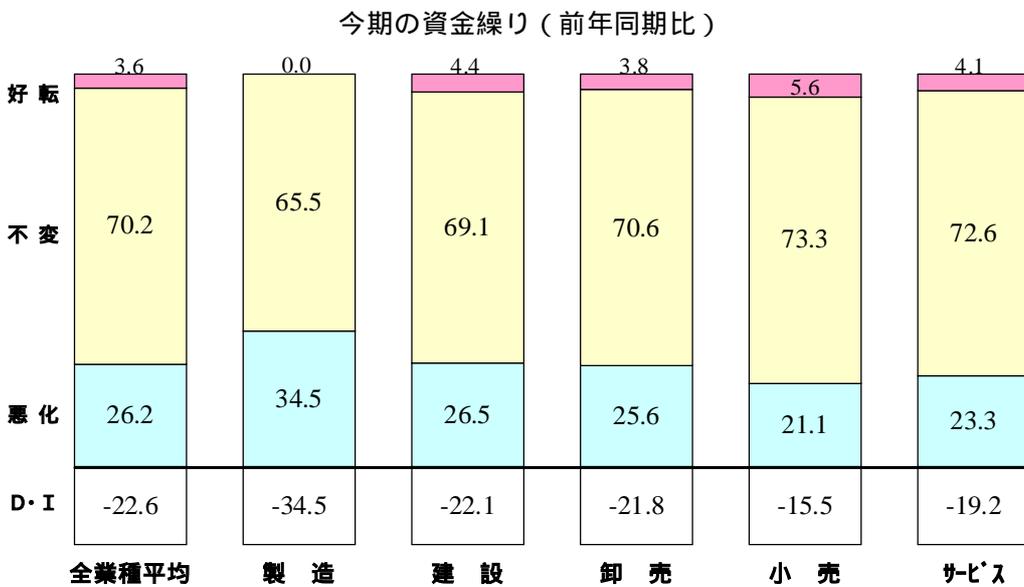
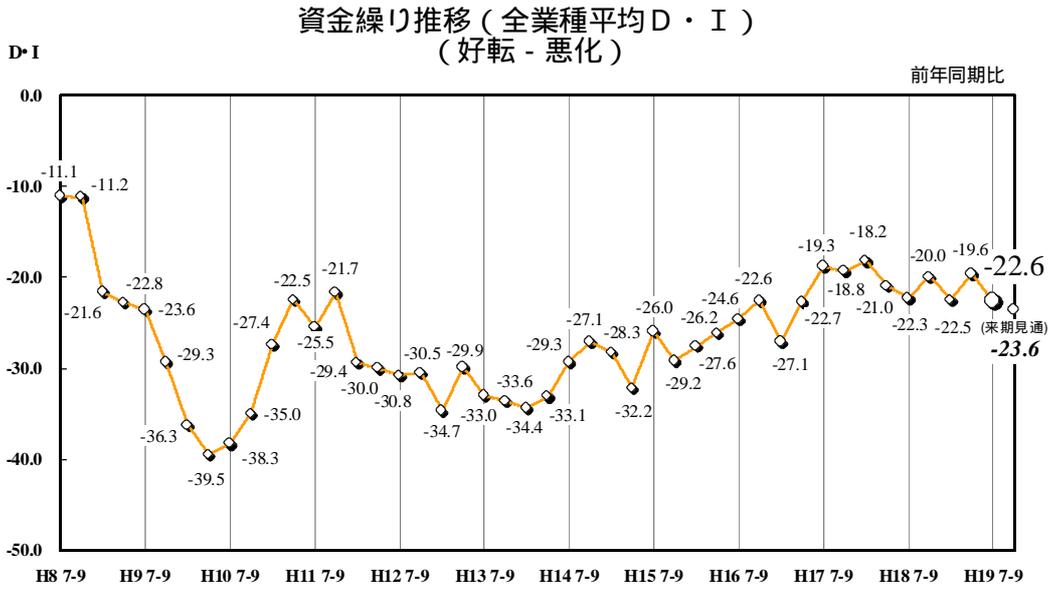


全業種平均でD・I値 31.6〔前回調査時（平成19年4～6月期 34.2）より2.6ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.7 35.6〕、建設〔前回 48.0 42.3〕
卸売〔前回 19.2 32.1〕、小売〔前回 31.3 29.0〕
サービス〔前回 34.7 19.2〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）



全業種平均でD・I値 22.6〔前回調査時（平成19年4～6月期 19.6）より3.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 43.3 34.5〕、建設〔前回 7.4 22.1〕
卸売〔前回 12.8 21.8〕、小売〔前回 17.0 15.5〕
サービス〔前回 17.8 19.2〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「原材料価格の上昇」	(33.2%) [前回 28.5%]
	「需要の停滞」	(29.5%) [前回 33.8%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(20.4%) [前回 14.3%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(28.4%) [前回 18.9%]
	「官公需要の停滞」	(26.8%) [前回 24.8%]
	「民間需要の停滞」	(19.4%) [前回 16.0%]
	「材料単価の上昇」	(13.4%) [前回 18.9%]
卸売業	「需要の停滞」	(46.7%) [前回 37.5%]
	「仕入単価の上昇」	(13.7%) [前回 13.4%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(8.2%) [前回 9.5%]
小売業	「大型・中型店進出競争の激化」	(22.9%) [前回 24.3%]
	「需要の停滞」	(21.8%) [前回 22.1%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(14.5%) [前回 11.6%]
	「仕入単価の上昇」	(9.6%) [前回 4.7%]
サービス業	「需要の停滞」	(28.8%) [前回 33.2%]
	「大企業の進出による競争の激化」	(11.4%) [前回 12.7%]
	「材料等仕入価格の上昇」	(11.4%) [前回 3.2%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(10.0%) [前回 11.1%]

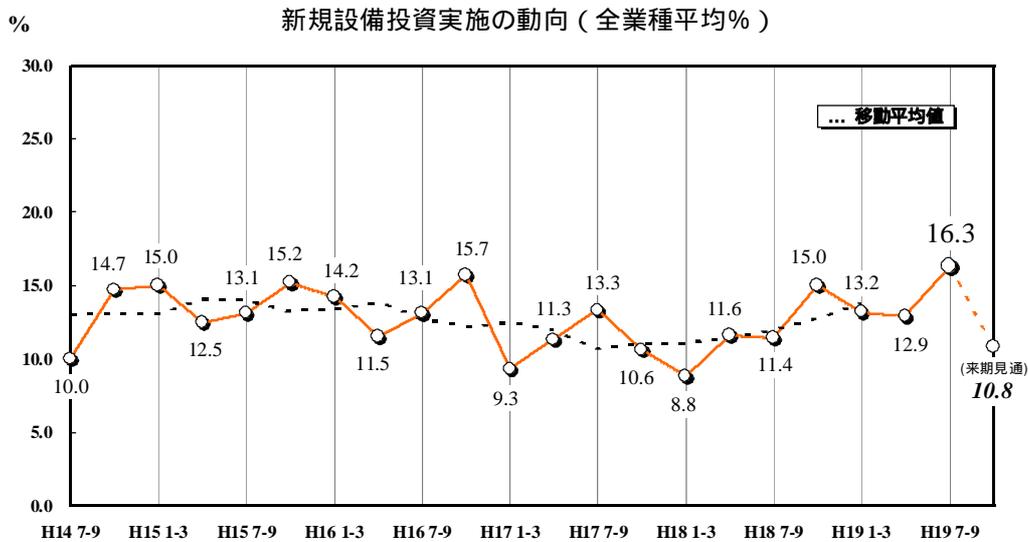
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値 4.8〔前回調査時(平成19年4～6月期 2.0)より6.8ポイント不足に傾斜〕。また、「適正」とする企業が81.4%と大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 6.6 3.4〕(適正83.0%)
 建設〔前回 8.7 8.9〕(適正79.1%)
 卸売〔前回 2.7 5.4〕(適正86.4%)
 小売〔前回 1.1 4.6〕(適正81.4%)
 サービス〔前回 1.5 8.5〕(適正77.5%)

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

（単位％）

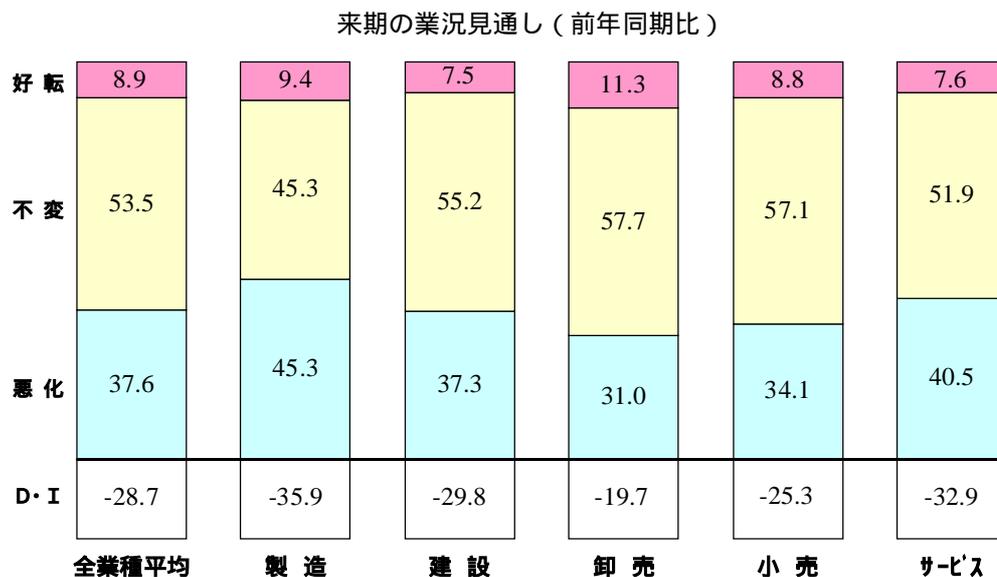
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	25.0	7.1	15.4	14.0	20.0	16.3
土地	0.0	40.0	16.7	0.0	0.0	11.3
工場建物、建物、店舗	0.0	60.0	33.3	7.7	12.5	22.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	46.7	0.0	33.3	0.0	31.3	22.3
車両運搬具	13.3	60.0	41.7	76.9	18.8	42.1
倉庫・駐車場等の付帯施設	6.7	0.0	25.0	23.1	12.5	13.5
OA機器	26.7	0.0	33.3	23.1	31.3	22.9
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	26.7	0.0	8.3	0.0	18.8	10.8
実施していない	75.0	92.9	84.6	86.0	80.0	83.7

新たに設備投資を実施した企業は平均で**16.3%**〔前回調査時（平成19年4～6月期12.9%）より3.4%増加〕、業種別では製造〔前回13.1% 25.0%〕、建設〔前回12.5% 7.1%〕、卸売〔前回19.0% 15.4%〕、小売〔前回7.3% 14.0%〕、サービス〔前回12.8% 20.0%〕と、製造、小売、サービスで前回調査時の水準を上回った。

2. 来期の見通し

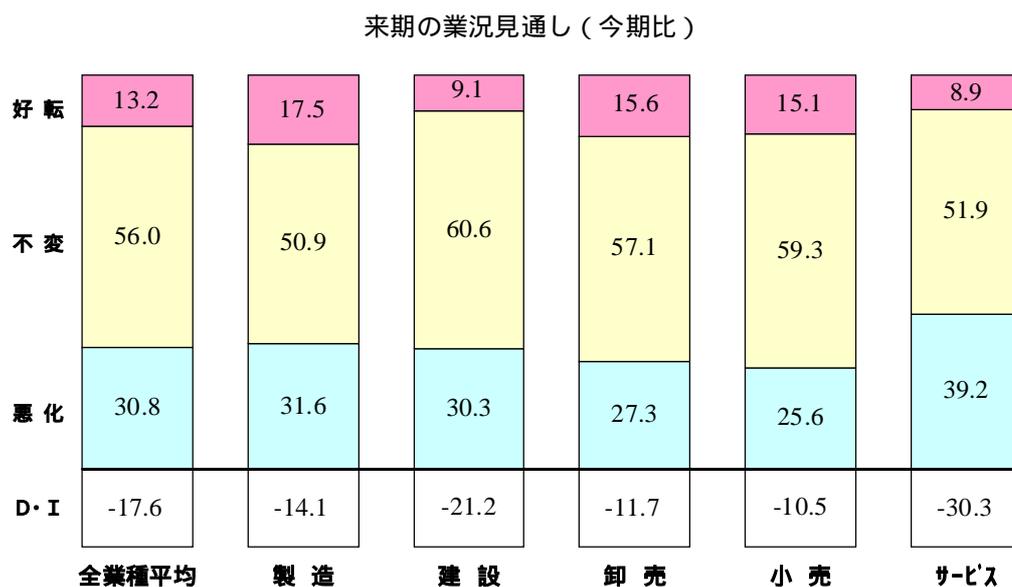
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成18年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 28.7〔今期の業況（前年同期比 32.4）より3.7ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

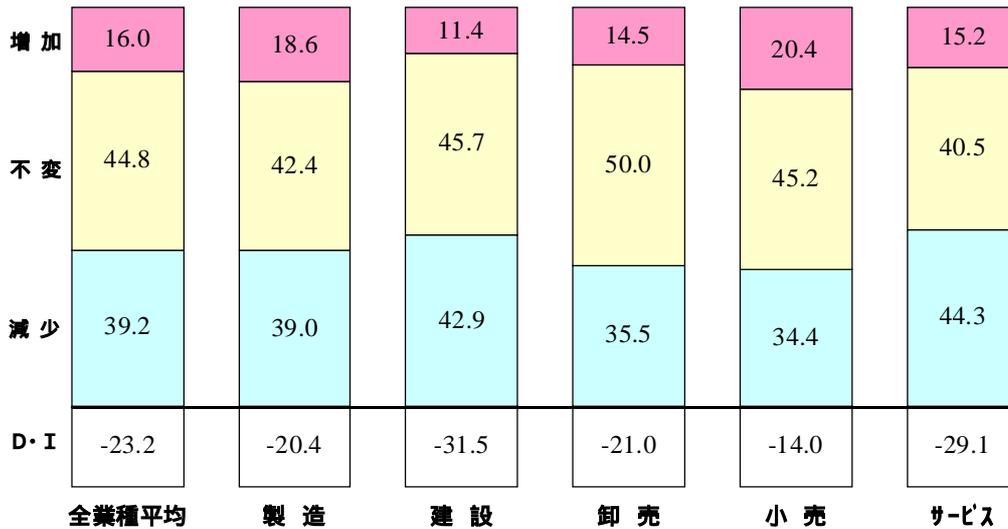
【今期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成18年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

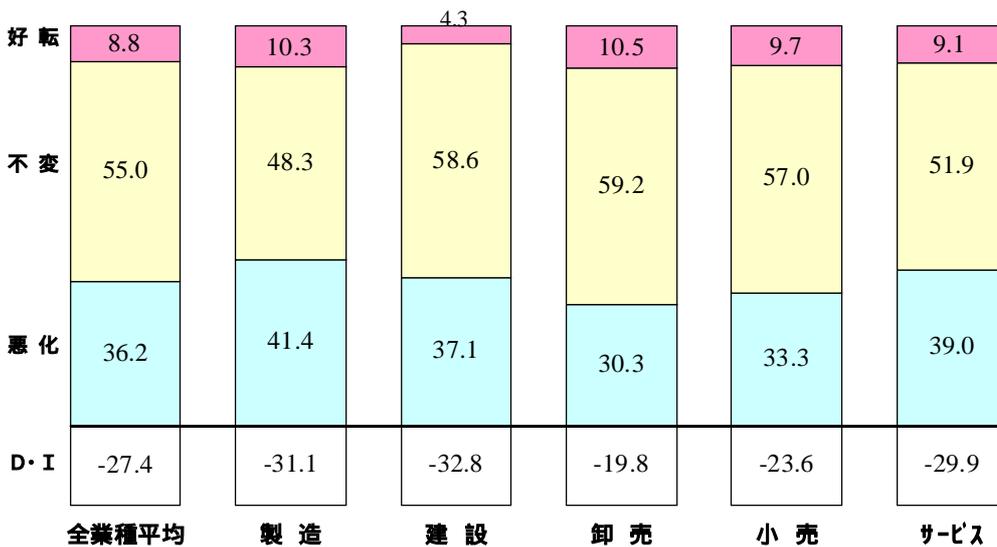


全業種平均でD・I値 23.2〔今期の売上高（前年同期比 33.1）より9.9ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成18年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 27.4〔今期の採算（前年同期比 31.6）より4.2ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

来期の新規設備投資の動向

	(単位%)					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	15.0	4.3	3.9	7.6	23.4	10.8
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.1
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	0.0	14.3	22.2	7.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	44.4	0.0	33.3	14.3	33.3	25.1
車両運搬具	11.1	33.3	0.0	71.4	16.7	26.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	22.2	0.0	66.7	0.0	22.2	22.2
O A 機器	22.2	66.7	66.7	28.6	22.2	41.3
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.1
	11.1	0.0	0.0	0.0	27.8	7.8
	85.0	95.7	96.1	92.4	76.6	89.2

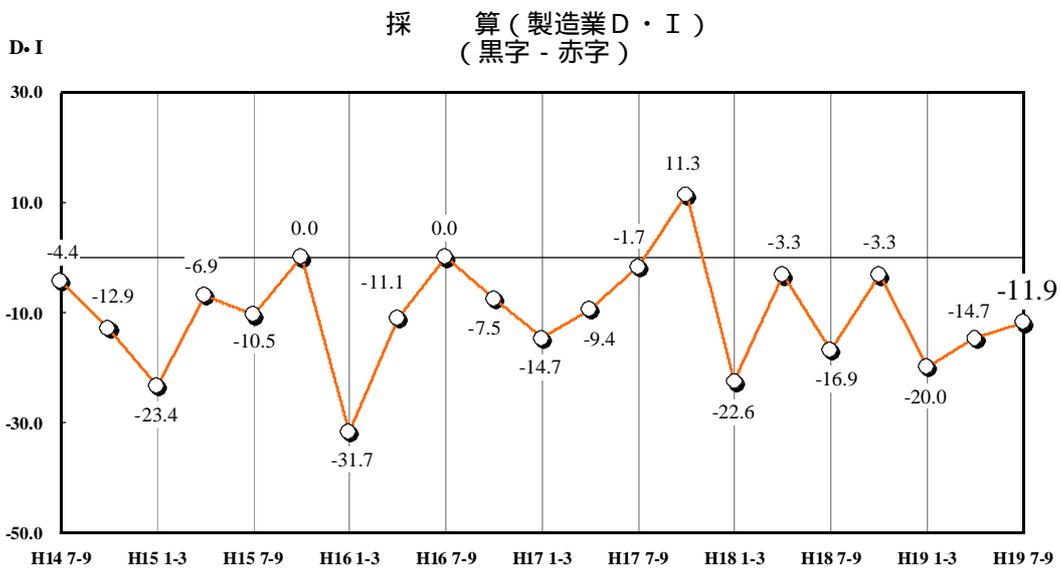
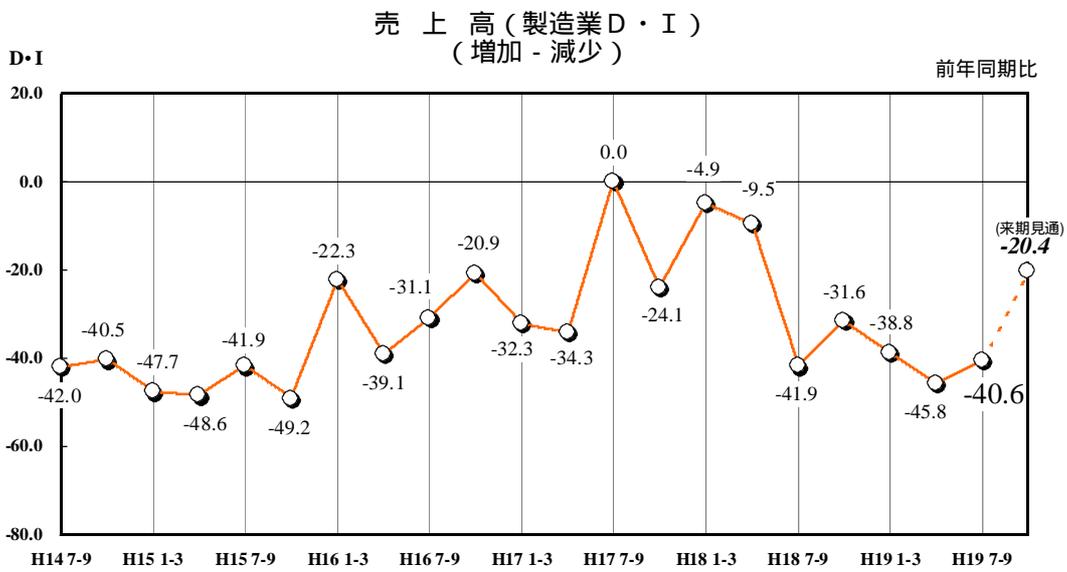
新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**10.8%**となっており、今期(16.3%)を下回る見通し。

業種別では、製造〔今期25.0% 15.0%〕、建設〔今期7.1% 4.3%〕、卸売〔今期15.4% 3.9%〕、小売〔今期14.0% 7.6%〕、サービス〔今期20.0% 23.4%〕となっている。

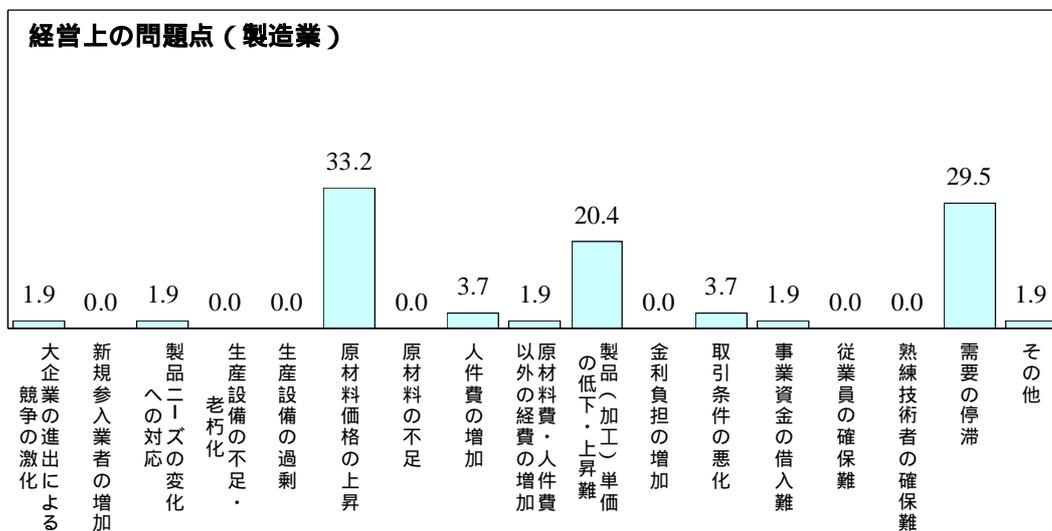
業種別の動向

(1) 製造業





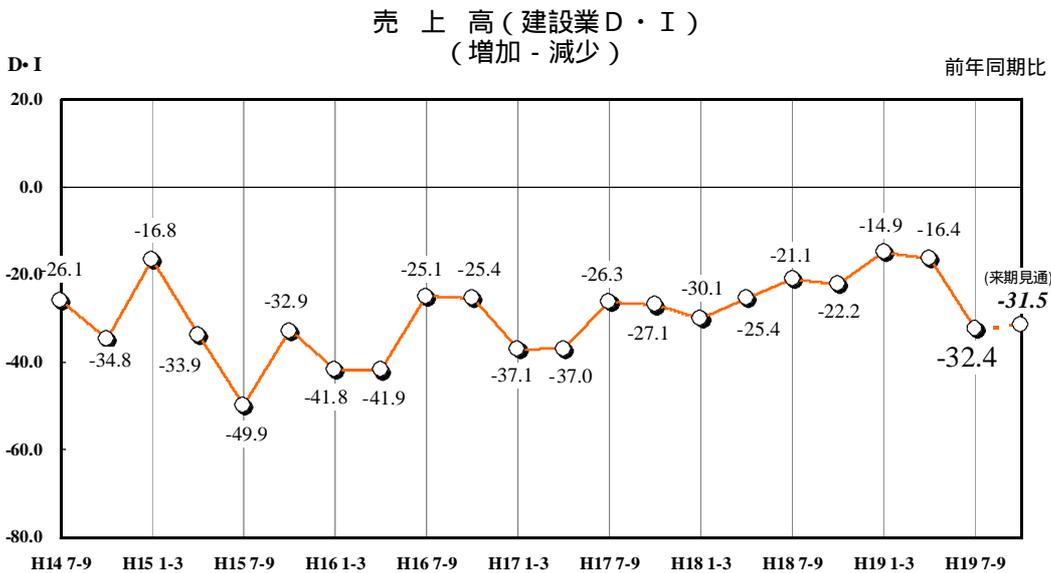
経営上の問題点



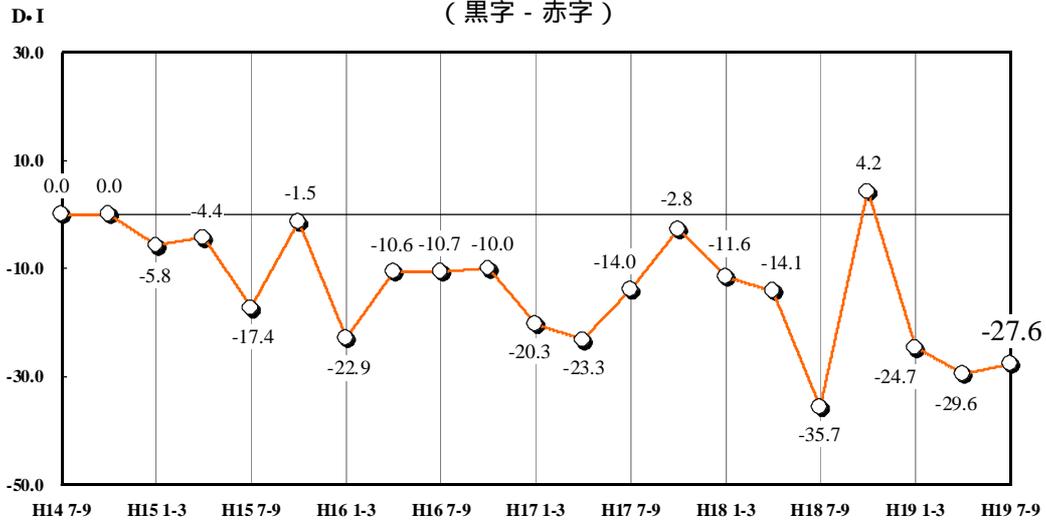
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	34.5	27.1	30.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	13.2	13.2 (今期比)
短期 "	-----	5.9	3.9 (今期比)
設 備 操 業 率	26.3	-----	23.2 (前年同期比)

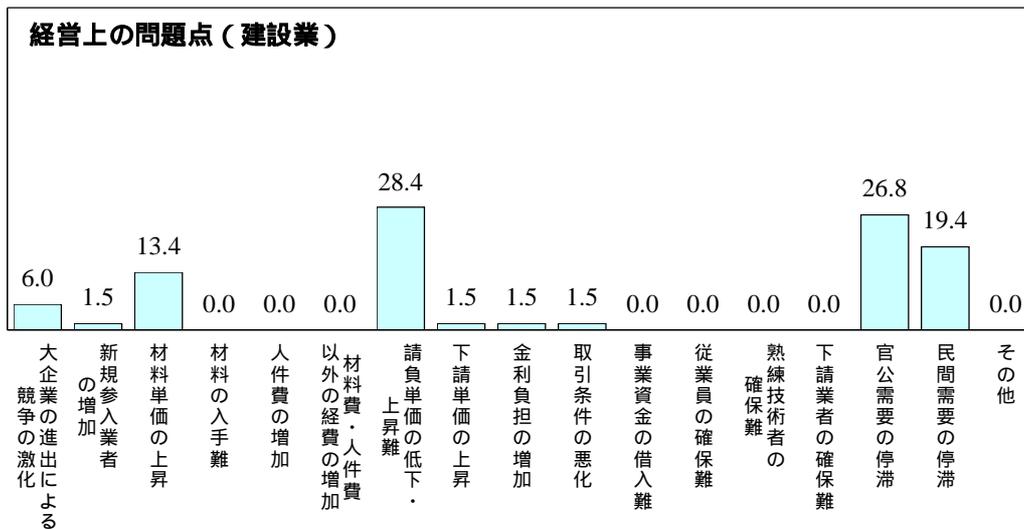
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



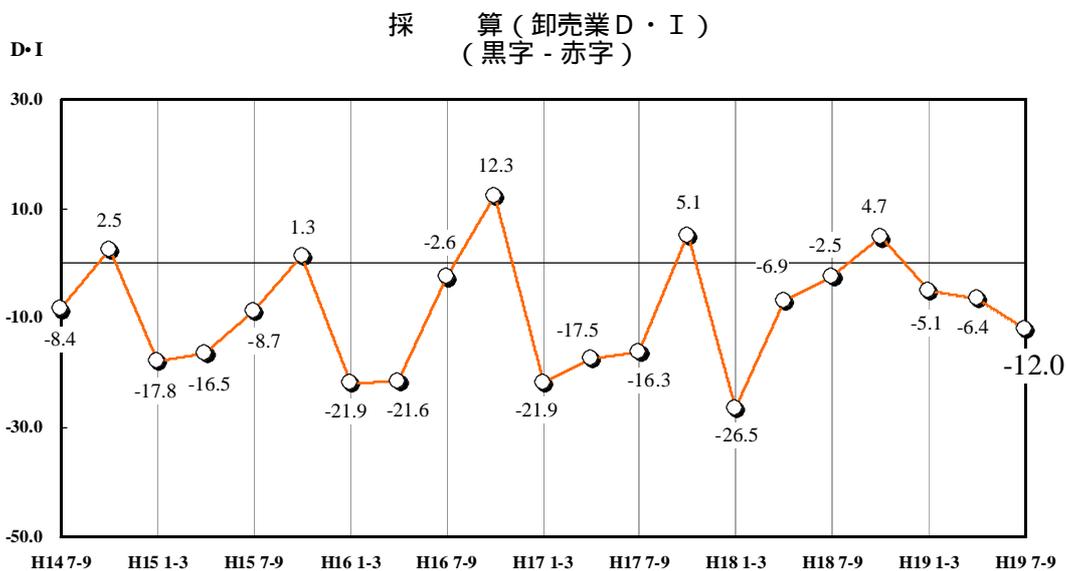
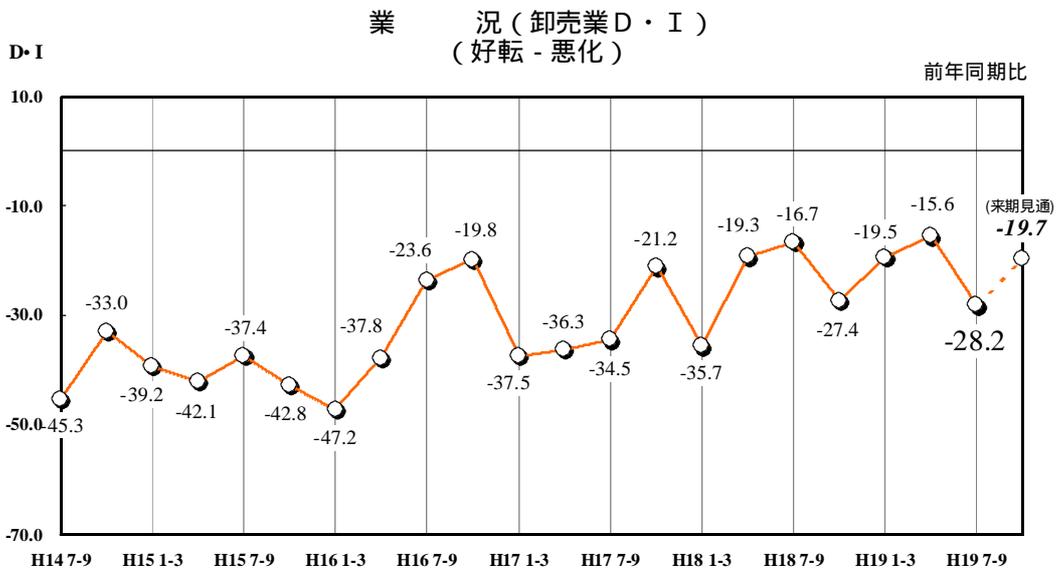
経営上の問題点



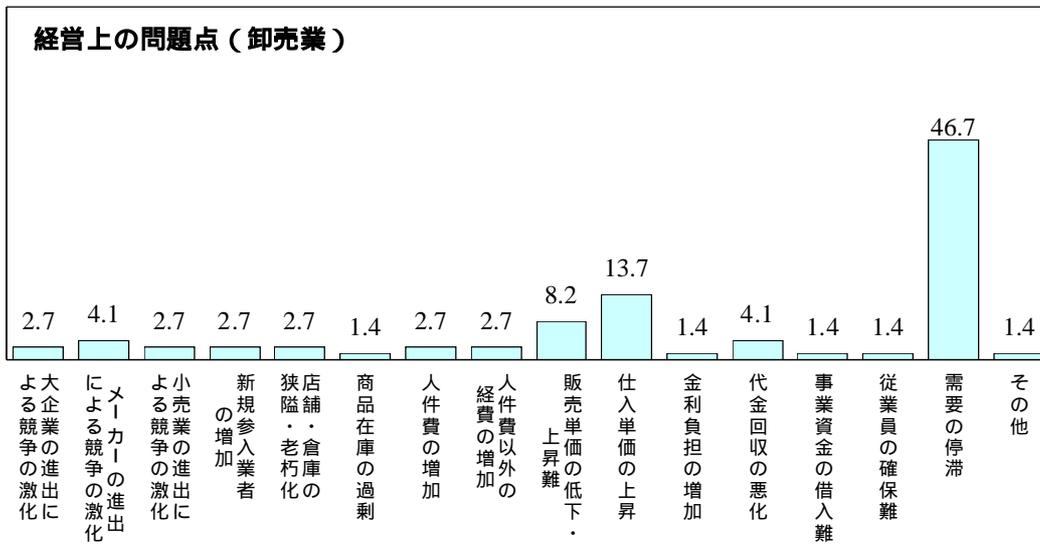
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	22.1	20.6	26.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	15.8	14.7 (今期比)
短期 "	-----	8.3	6.8 (今期比)
受注(新規契約工事)額	29.5	-----	26.1 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



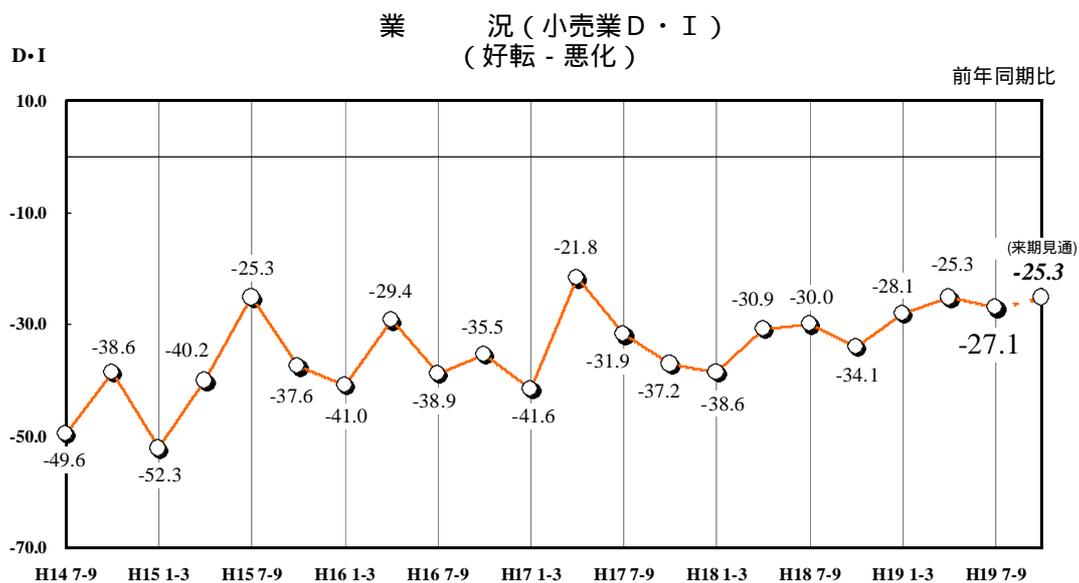
経営上の問題点

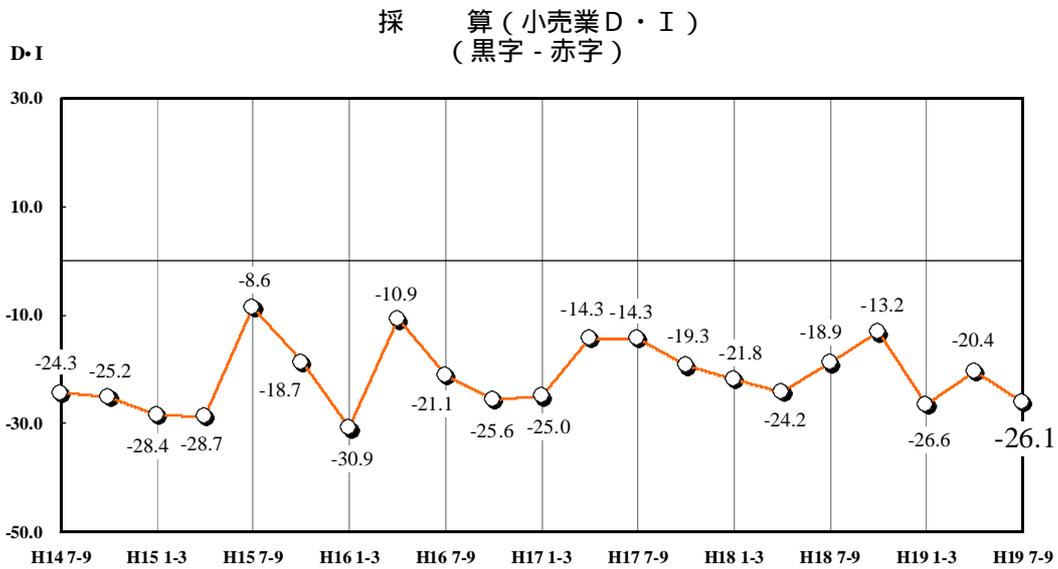
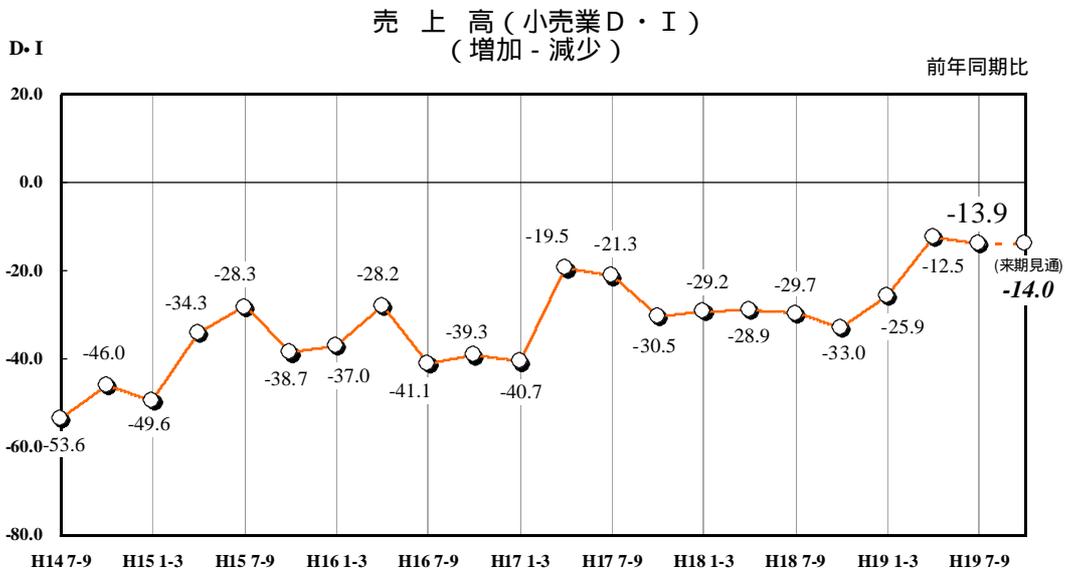


その他（D・I値）

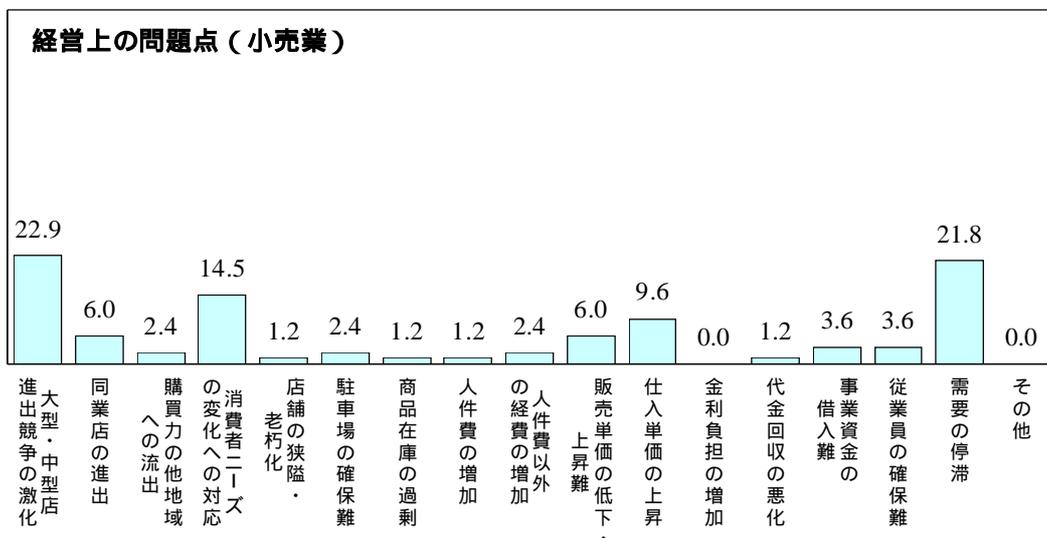
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	21.8	17.1	14.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	1.3	1.4 (今期比)
短期 "	-----	4.3	1.4 (今期比)
商品在庫数量	33.3	-----	26.3 (前年同期比)

(4) 小 売 業





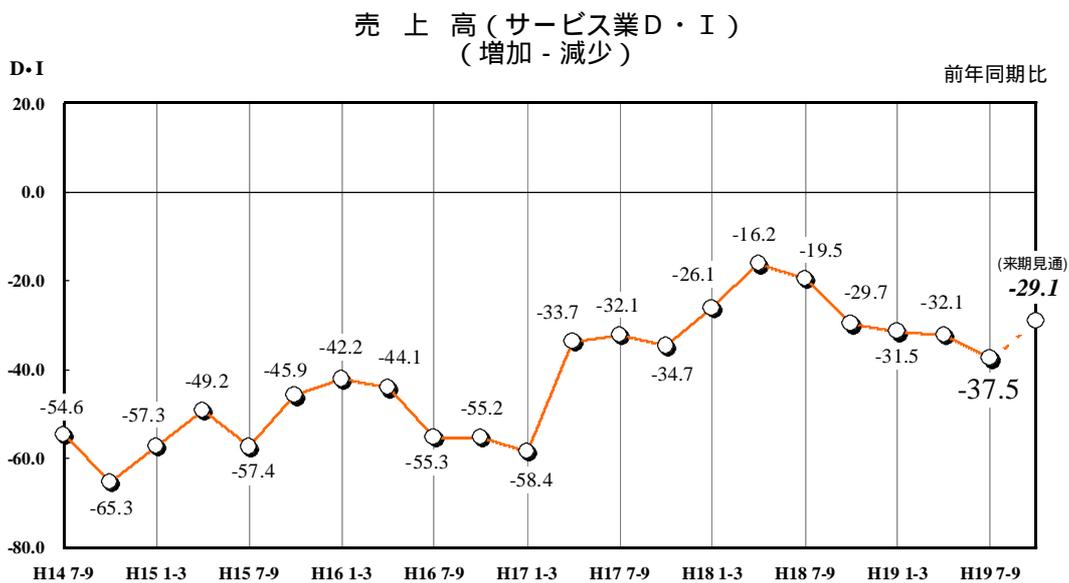
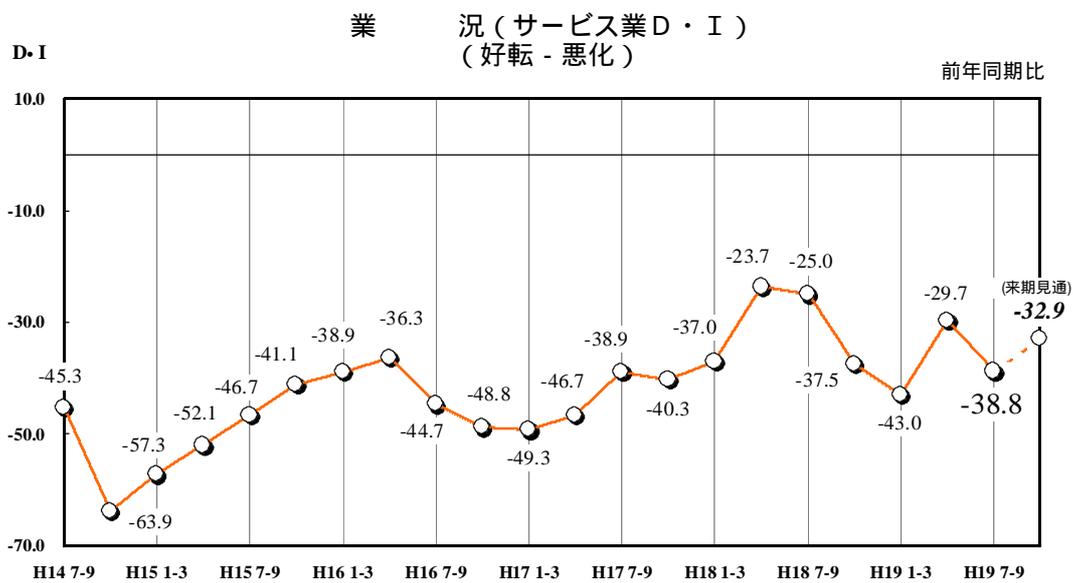
経営上の問題点



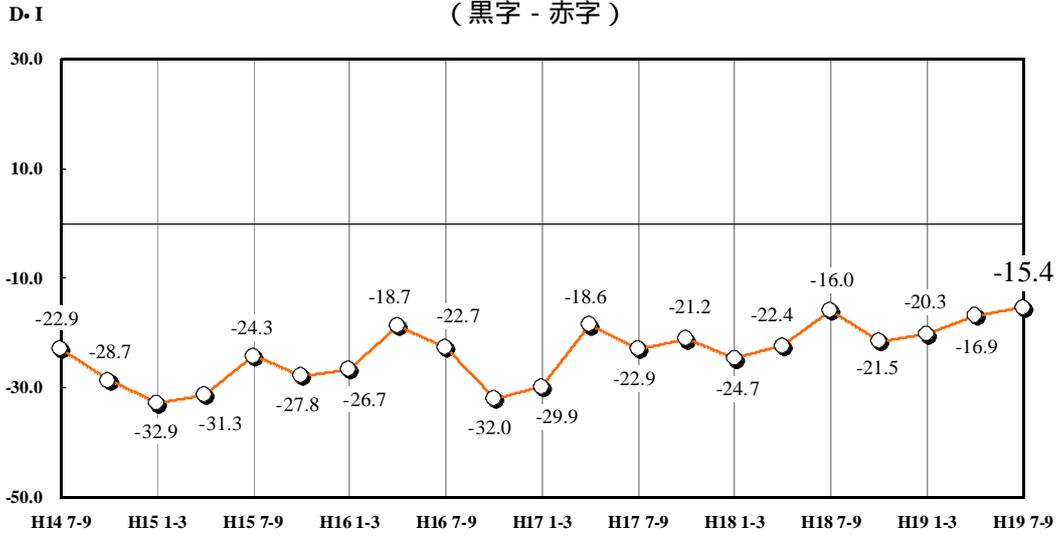
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	15.5	21.4	21.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	9.9	8.8 (今期比)
短期 〃	-----	6.7	6.8 (今期比)
商品在庫数量	20.4	-----	25.8 (前年同期比)

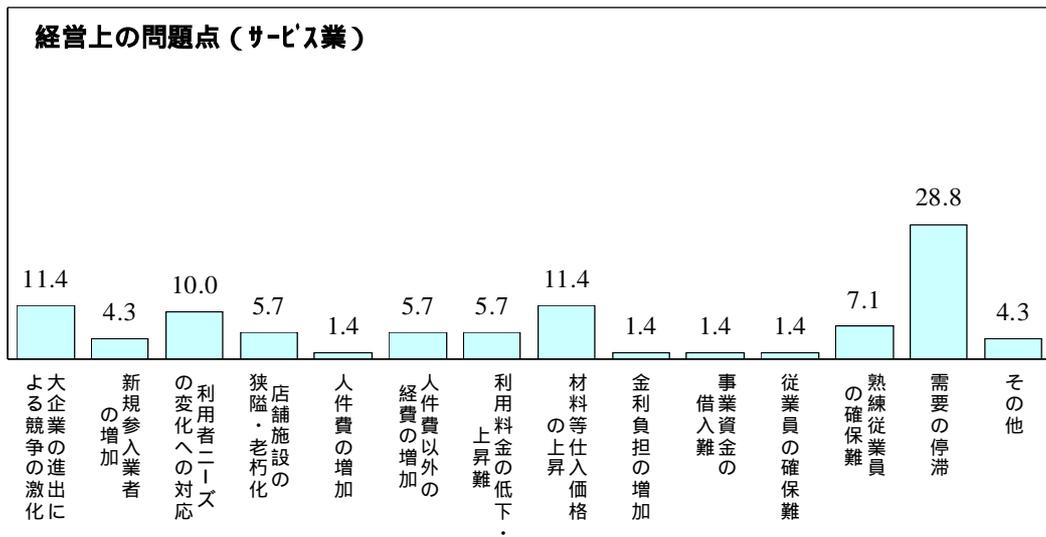
(5) サービス業



採 算 (サービス業D・I)
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	19.2	20.0	25.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	23.1	24.6 (今期比)
短期 "	-----	12.0	13.5 (今期比)
利 用 客 数	25.7	13.4	24.7 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期 (平成19年 7月 ~ 9月) の水準			D・I
	↗	↘	↔	
業 況 (自 社)	11.7	36.7	51.6	-39.9
生産に対する原材料在庫	9.3	87.0	3.7	5.6
売上に対する製品在庫	3.8	92.4	3.8	0.0
採 算 (経常利益)	16.9	54.3	28.8	-11.9
引 合 計	10.2	35.6	54.2	-44.0
生 産 設 備	13.6	76.2	10.2	3.4
従 業 員 (含臨時・パート)	10.2	83.0	6.8	3.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調
 ↔ : ふつう、適正、収支トントン

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 7月 ~ 9月)に比べて				前期(平成19年4月 ~ 6月)に比べて				前年同期(平成18年10月 ~ 12月)と比べた 来 期(平成19年10月 ~ 12月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 (加 工) 額	15.3	28.8	55.9	-40.6	23.7	28.8	47.5	-23.8	18.6	42.4	39.0	-20.4
B 売 上 (加 工) 単 価	8.9	55.4	35.7	-26.8	8.8	64.9	26.3	-17.5	14.0	57.9	28.1	-14.1
C 売 上 (加 工) 数 量	14.3	35.7	50.0	-35.7	17.9	35.7	46.4	-28.5	17.9	37.5	44.6	-26.7
D 資 金 繰 り	0.0	65.5	34.5	-34.5	3.4	66.1	30.5	-27.1	0.0	69.5	30.5	-30.5
E 輸 出 額	33.3	50.0	16.7	16.6					44.5	44.4	11.1	33.4
F 原 材 料 仕 入 単 価	72.4	27.6	0.0	72.4					64.9	33.3	1.8	63.1
G 原 材 料 在 庫 数 量	16.4	58.1	25.5	-9.1					9.4	66.1	24.5	-15.1
H 製 品 在 庫 数 量	9.6	57.7	32.7	-23.1					5.9	62.7	31.4	-25.5
I 採 算 (経常利益)	6.8	50.8	42.4	-35.6					10.3	48.3	41.4	-31.1
J 従 業 員 (含臨時・パート)	10.3	60.4	29.3	-19.0					5.4	66.0	28.6	-23.2
K 外 部 人 材 (請負・派遣)	3.1	75.0	21.9	-18.8					6.1	84.8	9.1	-3.0
L 設 備 操 業 率	12.3	49.1	38.6	-26.3					8.9	59.0	32.1	-23.2
M 引 合 計	15.3	33.9	50.8	-35.5								
N 受 注 残	7.3	47.2	45.5	-38.2								
	8.3	46.7	45.0	-36.7	19.0	44.8	36.2	-17.2	9.4	45.3	45.3	-35.9
O 業 況 (自 社)	前年同期(平成18年 7月 ~ 9月)に比べて				前期(平成19年4月 ~ 6月)に比べて				今 期 (平成19年 7月 ~ 9月)と比べた 来 期 (平成19年10月 ~ 12月)の見通し			
P 受 取 手 形 期 間					5.0	95.0	0.0	5.0	17.5	50.9	31.6	-14.1
Q 長 期 資 金 借 入 難 度					0.0	86.8	13.2	-13.2	0.0	86.8	13.2	-13.2
R 短 期 資 金 借 入 難 度 (含手形割引)					3.9	86.3	9.8	-5.9	3.9	88.3	7.8	-3.9
S 借 入 金 利					37.0	63.0	0.0	37.0	33.3	66.7	0.0	33.3

↗ : 増加 ↘ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 長期化 ↗ : 容易
 ↔ : 不変 (A, C, E, G, H, J, K, M, N) ↔ : 不変 (B, F, L, S) ↔ : 不変 (D, I, O) ↔ : 不変 (P) ↔ : 不変 (Q, R)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 短期化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今 期	25.0	0.0	0.0	46.7	13.3	6.7	26.7	0.0	26.7	75.0
来 期	15.0	0.0	0.0	44.4	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	85.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1 ~ 3 位
大企業の進出による競争の激化	1.9	9.3
新規参入業者の増加	0.0	3.7
製品ニーズの変化への対応	1.9	13.0
生産設備の不足・老朽化	0.0	16.7
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	33.2	64.8
原材料の不足	0.0	1.9
人件費の増加	3.7	11.1
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.9	20.4
製品(加工)単価の低下・上昇難	20.4	42.6
金利負担の増加	0.0	1.9
取引条件の悪化	3.7	14.8
事業資金の借入難	1.9	3.7
従業員の確保難	0.0	3.7
熟練技術者の確保難	0.0	5.6
需要の停滞	29.5	59.3
その他	1.9	1.9

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成19年 7月～ 9月)の水準			
	↗	↘	↘	D・I
業 況 (自 社)	8.0	42.7	49.3	-41.3
売 上 対 する 商 品 在 庫	18.4	69.8	11.8	6.6
採 算 (経 常 利 益)	17.3	53.4	29.3	-12.0
引 合 計	6.8	48.6	44.6	-37.8
従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	4.1	86.4	9.5	-5.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成19年4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成18年10月～ 12月)と比べた 来 期(平成19年10月～ 12月)の見通し			
	↗	↘	↘	D・I	↗	↘	↘	D・I	↗	↘	↘	D・I
A 売 上 額	12.8	33.3	53.9	-41.1	27.3	35.1	37.6	-10.3	14.5	50.0	35.5	-21.0
B 売 上 単 価	18.2	68.8	13.0	5.2	13.2	71.0	15.8	-2.6	22.4	65.8	11.8	10.6
C 資 金 繰 り	3.8	70.6	25.6	-21.8	6.6	69.7	23.7	-17.1	6.7	72.0	21.3	-14.6
D 商 品 仕 入 単 価	51.3	47.4	1.3	50.0					51.3	48.7	0.0	51.3
E 商 品 仕 入 数 量	14.1	43.6	42.3	-28.2					9.2	55.3	35.5	-26.3
F 商 品 在 庫 数 量	7.7	51.3	41.0	-33.3					7.9	57.9	34.2	-26.3
G 採 算 (経 常 利 益)	5.1	57.7	37.2	-32.1					10.5	59.2	30.3	-19.8
H 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	2.7	90.6	6.7	-4.0					2.7	89.1	8.2	-5.5
I 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	3.8	90.5	5.7	-1.9					1.9	90.4	7.7	-5.8
J 引 合 計	11.0	43.8	45.2	-34.2								
	9.0	53.8	37.2	-28.2	11.5	51.3	37.2	-25.7	11.3	57.7	31.0	-19.7
K 業 況 (自 社)	前年同期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成19年4月～ 6月)に比べて				今 期(平成19年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成19年10月～ 12月)の見通し			
L 受 取 手 形 期 間					4.8	95.2	0.0	4.8	3.2	96.8	0.0	3.2
M 長 期 資 金 借 入 難 度					5.6	87.5	6.9	-1.3	5.6	87.4	7.0	-1.4
N 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					8.5	87.3	4.2	4.3	7.1	87.2	5.7	1.4
O 借 入 金 利					40.5	58.1	1.4	39.1	30.1	68.5	1.4	28.7

↗ : 増加
 - : 不変 (A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不 変 (L)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不 変 (M, N)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実 施 ・ 計 画 し て い る									実 施 ・ 計 画 し て い な い
		土 地	店 舗	倉 庫	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	15.4	16.7	33.3	33.3	41.7	25.0	33.3	0.0	8.3	84.6
来 期	3.9	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	96.1

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～ 3 位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.7	11.0
メ ー カ ー の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	4.1	8.2
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.7	8.2
新 規 参 入 業 者 の 増 加	2.7	8.2
店 舗 ・ 倉 庫 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	2.7	4.1
商 品 在 庫 の 過 剰	1.4	8.2
人 件 費 の 増 加	2.7	5.5
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	2.7	20.5
販 売 単 価 の 低 下 ・ 上 昇 難	8.2	38.4
仕 入 単 価 の 上 昇	13.7	45.2
金 利 負 担 の 増 加	1.4	8.2
代 金 回 収 の 悪 化	4.1	19.2
事 業 資 金 の 借 入 難	1.4	6.8
従 業 員 の 確 保 難	1.4	4.1
需 要 の 停 滞	46.7	68.5
そ の 他	1.4	2.7

4. 小 売 業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成19年 7月～ 9月)の水準			D・I
	↑	↔	↓	
業 況(自 社)	9.8	42.4	47.8	-38.0
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	14.1	72.9	13.0	1.1
採 算(経 常 利 益)	10.9	52.1	37.0	-26.1
従 業 員(含 臨 時・パ ー ト)	7.0	81.4	11.6	-4.6

↑ : 良い、過剰、黒字、活発
 ↔ : ふつう、適正、収支トントン
 ↓ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成19年4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成18年10月～ 12月)と比べた 来 期(平成19年10月～ 12月)の見通し			
	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I
A 売 上 額	23.7	38.7	37.6	-13.9	20.4	40.9	38.7	-18.3	20.4	45.2	34.4	-14.0
B 客 単 価	10.8	58.0	31.2	-20.4	10.8	59.1	30.1	-19.3	9.7	61.3	29.0	-19.3
C 客 数	18.5	43.5	38.0	-19.5	17.4	47.8	34.8	-17.4	16.3	51.1	32.6	-16.3
D 資 金 繰 り	5.6	73.3	21.1	-15.5	5.6	67.4	27.0	-21.4	4.5	69.7	25.8	-21.3
E 商 品 仕 入 単 価	24.7	55.9	19.4	5.3					24.7	57.0	18.3	6.4
F 商 品 仕 入 額	18.3	45.1	36.6	-18.3					17.4	51.1	31.5	-14.1
G 商 品 在 庫 数 量	6.5	66.6	26.9	-20.4					5.4	63.4	31.2	-25.8
H 採 算(経 常 利 益)	8.6	53.8	37.6	-29.0					9.7	57.0	33.3	-23.6
I 従 業 員(含 臨 時・パ ー ト)	6.1	85.4	8.5	-2.4					2.4	89.1	8.5	-6.1
J 外 部 人 材(請 負・派 遣)	1.7	89.7	8.6	-6.9					3.4	89.7	6.9	-3.5
K 業 況(自 社)	10.9	51.1	38.0	-27.1	5.7	57.9	36.4	-30.7	8.8	57.1	34.1	-25.3
	前年同期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成19年4月～ 6月)に比べて				今 期(平成19年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成19年10月～ 12月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					4.9	80.3	14.8	-9.9	2.5	86.2	11.3	-8.8
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含 手 形 割 引)					4.0	85.3	10.7	-6.7	2.7	87.8	9.5	-6.8
N 借 入 金 利					19.5	76.8	3.7	15.8	18.5	81.5	0.0	18.5

↑ : 増加
 ↔ : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ↓ : 減少
 ↑ : 上昇
 ↔ : 不変 (B, E, N)
 ↓ : 低下
 ↑ : 好転
 ↔ : 不変 (D, H, K)
 ↓ : 悪化
 ↑ : 容易
 ↔ : 不変 (L, M)
 ↓ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 設 施	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	14.0	0.0	7.7	0.0	76.9	23.1	23.1	0.0	0.0	86.0
来 期	7.6	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	92.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3 位
大・中型店の進出による競争の激化	22.9	37.3
同 業 者 の 進 出	6.0	12.0
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	2.4	20.5
消 費 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	14.5	32.5
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	1.2	8.4
駐 車 場 の 確 保 難	2.4	7.2
商 品 在 庫 の 過 剰	1.2	4.8
人 件 費 の 増 加	1.2	3.6
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	2.4	8.4
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	6.0	32.5
仕 入 単 価 の 上 昇	9.6	21.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	6.0
代 金 回 収 の 悪 化	1.2	3.6
事 業 資 金 の 借 入 難	3.6	7.2
従 業 員 の 確 保 難	3.6	8.4
需 要 の 停 滞	21.8	51.8
そ の 他	0.0	3.6

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位：%)

区 分	今 期(平成19年 7月～ 9月)の水準			D・I
	↗	↘	↔	
業 況 (自 社)	6.4	47.4	46.2	-39.8
採 算 (経常利益)	15.4	53.8	30.8	-15.4
従 業 員 (含臨時・パート)	7.0	77.5	15.5	-8.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成19年4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成18年10月～ 12月)と比べた 来 期(平成19年10月～ 12月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 (収 入) 額	12.5	37.5	50.0	-37.5	22.1	42.8	35.1	-13.0	15.2	40.5	44.3	-29.1
B 客 単 価	2.6	70.5	26.9	-24.3	5.3	70.7	24.0	-18.7	1.3	76.6	22.1	-20.8
C 利 用 客 数	11.5	51.3	37.2	-25.7	17.3	52.0	30.7	-13.4	9.1	57.1	33.8	-24.7
D 資 金 繰 り	4.1	72.6	23.3	-19.2	2.9	74.2	22.9	-20.0	1.4	72.2	26.4	-25.0
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	38.7	58.6	2.7	36.0					37.8	59.5	2.7	35.1
F 採 算 (経 常 利 益)	5.1	53.9	41.0	-35.9					9.1	51.9	39.0	-29.9
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	6.9	73.7	19.4	-12.5					5.6	78.9	15.5	-9.9
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	3.8	77.3	18.9	-15.1					3.8	81.1	15.1	-11.3
I 業 況 (自 社)	7.5	46.2	46.3	-38.8	13.3	56.0	30.7	-17.4	7.6	51.9	40.5	-32.9
L 長 期 資 金 借 入 難 度					4.6	67.7	27.7	-23.1	4.6	66.2	29.2	-24.6
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					5.2	77.6	17.2	-12.0	5.1	76.3	18.6	-13.5
N 借 入 金 利					25.4	69.8	4.8	20.6	23.4	65.7	10.9	12.5

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	サービ 設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	20.0	0.0	12.5	31.3	18.8	12.5	31.3	0.0	18.8	80.0
来 期	23.4	5.6	22.2	33.3	16.7	22.2	22.2	5.6	27.8	76.6

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	11.4	18.6
新 規 参 入 業 者 の 増 加	4.3	15.7
利 用 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	10.0	38.6
店 舗 施 設 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	5.7	12.9
人 件 費 の 増 加	1.4	5.7
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	5.7	20.0
利 用 料 金 の 低 下 ・ 上 昇 難	5.7	27.1
材 料 等 仕 入 単 価 の 上 昇	11.4	30.0
金 利 負 担 の 増 加	1.4	11.4
事 業 資 金 の 借 入 難	1.4	4.3
従 業 員 の 確 保 難	1.4	10.0
熟 練 従 業 員 の 確 保 難	7.1	18.6
需 要 の 停 滞	28.8	47.1
そ の 他	4.3	5.7